



**ALAN JOHNSTON**

(Luxembourg Artist/Naturalist)

**"Kijimadaira First Impressions,  
Sketches from an Alpine Village"**

**2010.6.24<sub>(THU)</sub> - 8 月中旬**

**10.00 - 17.00 (月～金) 入場無料**

於 ルクセンブルク大公国大使館

主催: ルクセンブルグ大公国大使館

問合せ: 03-3265-9621

住所: 千代田区四番町 8-9 ルクセンブルグハウス 1F

JR・営団地下鉄・都営地下鉄 市ヶ谷駅より徒歩 5 分

map : [http://www.luxembourg.or.jp/jpn/emb\\_map.html](http://www.luxembourg.or.jp/jpn/emb_map.html)

後援: ルクセンブルク文化省、デクシア BIL 文化振興基金、長野県木島平村



LE GOUVERNEMENT  
DU GRAND-DUCHÉ DE LUXEMBOURG  
Ministère de la Culture

FONDATION  
INDEPENDANCE  
DEXIA BANQUE INTERNATIONALE À LUXEMBOURG  
POUR LA PROMOTION DE L'ART ET DE LA CULTURE



ルクセンブルク 画家・自然学者



# アラン・ジョンストン作品展

『木島平のスケッチブック』



# アーティスト イン レジデンス (ARTIST IN RESIDENCE)

“アーティスト・イン・レジデンス”プログラムは、芸術支援活動のひとつで国外から芸術家を招き、一定期間、住居や仕事場を提供し、滞在中の創作を支援する活動で、創作のみならず、芸術家と地域住民との交流なども重視されている。

今回、在ルクセンブルク大公国大使館は、画家・自然学者のアラン・ジョンストン氏を本国から日本に招き、木島平村での2カ月間の滞在による作品の創作活動を支援している。

ルクセンブルクのアーティストの木島平村への滞在は、2007年のタウン・ウェン・マルグ氏以来2回目となる。

村内滞在による芸術家の創作活動を通じて、ルクセンブルグ大公国と木島平村の友好関係がさらに深まることを期待している。

## アラン・ジョンストン氏略歴 (ALAN JOHNSTON'S PROFILE)



1959年にスイスのチューリッヒで生まれる。

1977年から1981年までスコットランドのグラスゴーで剥製師として修行する。

スコットランド在住中に、当時活躍中の芸術家・自然学者から芸術家になることを勧められ、大学で応用美術の修士号と視覚芸術の博士号を取得する。

現在、妻と3人の子供とルクセンブルグに在住。

30年以上に渡り野外での絵画創作活動に取り組み、その活動の中で180ものスケッチブックを描き上げている。

「In Black Stork Country」(黒コウノトリの国)など6冊の著書がある。

最近の作風は、写実的なスタイルからより概念的、主観的になっており、油彩画に近いものになっている。具体と抽象、科学とアート、観察と洞察の両義性を模索するものとなっている。

日本の「墨絵」を模し、インクを用いて植物の影を描き、動植物の生態を伝える絵画集を手掛けている。

ルクセンブルグや国外での多くの講習会で絵画指導をしている。2002年から2008年にはルクセンブルグの教育省の試験的事業である「DA VINCI UND SO WEITER」で指揮を取り、教師、子どもを対象に絵画を通して自然に触れることを目的とした取り組みを行う。

国際的な展示会の開催やフランスのアルプス地方で行われたプロジェクトへの参加、アメリカの「The Leigh Yawkey-Woodson 美術館」プロジェクトへの参加、ポーランドやオランダの自然基金のプロジェクトに参加するなどの業績を通してルクセンブルグを代表する芸術家そして自然学者として活躍している。

高校生のころから日本の文化に興味を持ち始め、とりわけ江戸時代の浮世絵師である葛飾北斎や安藤広重の作品には、深い感銘を受けている。